

2023 年 11 月 17 日

通貨ニュース

インド：RBI は消費者ローン増加を抑制する方針を示す

16 日、インド準備銀行 (RBI) は、商業銀行とノンバンクの消費者向けの貸出に加え、クレジットカード向け貸出やノンバンク向け融資に関して、リスクウェイトを引き上げる方針を示した。具体的には、個人向け貸出のうち、住宅・教育・自動車・金や宝石類に対するものを除き、リスクウェイトが従前の 100% から +25% 引き上げられ、125% となる。また、クレジットカード向けのリスクウェイトも +25% 引き上げられ、商業銀行で 150%、ノンバンクで 125% となる。加えて、ノンバンク向けの融資に対するリスクウェイトも、従来から +25% 引き上げとなる。これらの決定は即時に有効化されており、域内の銀行は遅くとも 2024 年 2 月末までに順守する必要がある。域内の銀行はより多くの自己資本を積み増す必要に迫られることとなり、特に個人向けの貸出に慎重になるだろう。必然的に消費者信用の一層の増加には歯止めがかかる公算が大きい。

RBI は今回の決定の背景として、消費者信用の伸びに対する警戒感があると述べている。そもそも、RBI は 10 月の金融政策委員会 (MPC) においても、同様の警戒感を示していた。実際、ダス・RBI 総裁は 10 月 MPC の会見で、「個人向けローンの一部の構成要素が非常に高い伸びを示している」「ストレスの兆候がないか、注意深く監視している」「適切な保護措置を講じることが適切」と述べた経緯がある。今回の決定は、このような流れの一環であり、市場でもそこまでサプライズはなかった印象だ。

足許の消費者信用の伸びを確認すれば、確かに企業向けのそれに比べて伸びが強いことがわかる (図表 1)。特に、パンデミック以降の急加速が目立つ。消費者信用残高を項目別に確認したものが図表 2、3 だが、目立った特徴は見取れなかった。強いて言えば、耐久消費財向けの伸びが一服した一方で、住宅向けが強い伸びを示していることぐらいだ。もともと、総じて強い伸びであることに変わりはなく、RBI が警戒感を示すのも理解できる内容だ。かかる中、家計金融資産の対 GDP 比の数字は、2023 年 3 月時点で 5.1% と 16 年ぶりの低水準となっている。良好な経済成長率と合わせて考えれば、消費者が保有資産ではなく借入によって消費活動を行っていることが示唆されよう。

実際、RBI による累次の利上げにかかわらず、消費者の支出意欲は高止まりを続けている (図表 4)。消費活動の強さが、裏打ちがないままに続けば、いずれかのタイミングで急速に萎んでしまうリスクがある。その際、膨れ上がった借入の返済が重しとなる中、銀行システム不安にまで波及する可能性は否定できない。そのようなリスクを抱えるよりは、事前に銀行による個人向けの貸出基準を半ば強制的に厳格化させることで、消費者の支出意欲を抑制するほうが得策だと判断したのだろう。本欄では RBI は利上げを終了したと考えているが、10 月会合では量的な引き締め策の実施を示唆した (*)。16 日の決定も、「金融引き締め」的な政策であり、RBI のタカ派スタンスはやはり当面続く公算が大きい。

金融市場部

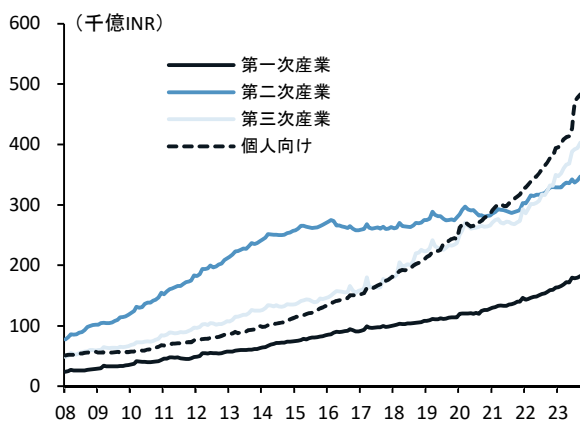
長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

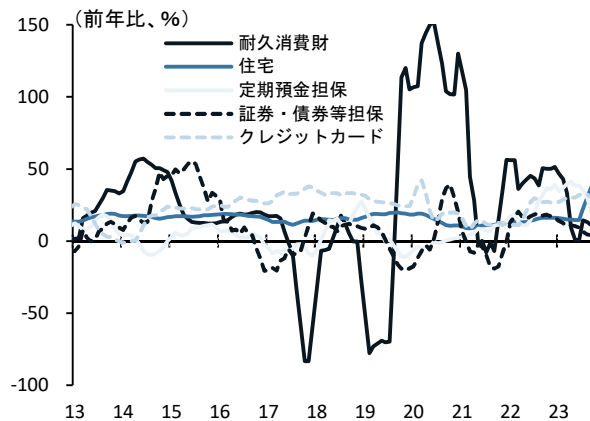
*詳細は、10 月 6 日発行の通貨ニュース、『インド:10 月金融政策会合〜RBI は保有債券の売却を示唆〜』をご覧ください。

図表 1:企業・個人信用残高



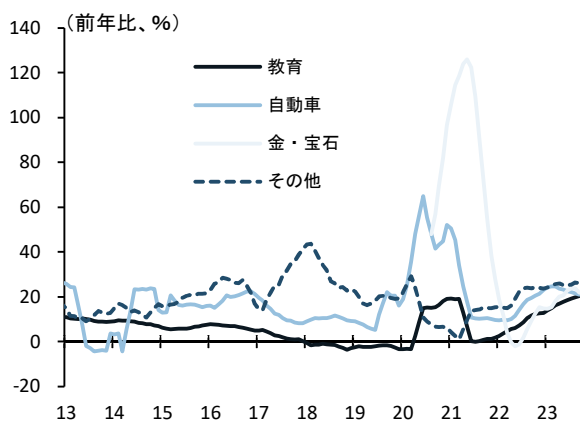
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2:消費者信用残高の推移



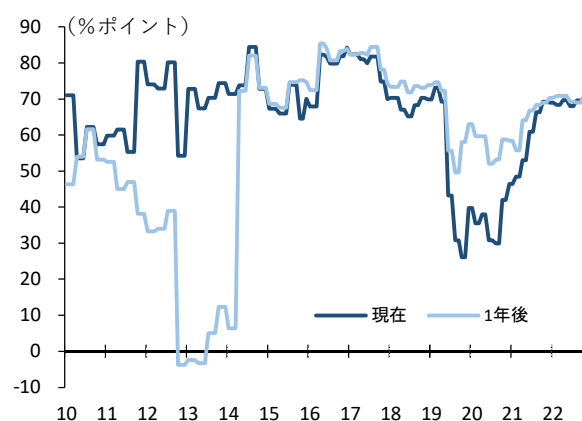
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行 ※3 か月移動平均

図表 3:消費者信用残高の推移



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行 ※3 か月移動平均

図表 4:消費者調査における支出動向



出所:macrobond、みずほ銀行
※現在は「増えた-減った」、1年後は「増やす-減らす」を表示

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。